

白菜の栽培要領

1. 今までの経緯

昨年の白菜の栽培は山田が目の手術で苗作りが菜の花教室に間に合わず9月11日に我々がB農地東側に植え付けた。当時は高温だったため植え付け後に枯れた苗が多かった。このため、直播をしてオルトラン（土壌から苗が吸収して防虫するタイプ：白菜にはよく使われている農薬、倉庫に在庫あり）を蒔き防虫対策をとったが、その後の雑草取りを怠り白菜はほぼ全滅した。

2022年まではC農地で白菜を栽培しており、オルトランと初期の殺虫剤散布でなんとか成功していたが、C農地のカボチャ栽培の後ライ麦緑肥栽培で秋野菜栽培ができなくなったため、AB農地で栽培することになった経緯がある。

AB農地は雑草の種が非常に多くて、除草を怠るとあっという間に雑草に覆われ虫の攻撃に晒されたと思われる。

元々白菜は虫が好む作物で最近の家庭菜園では防虫ネットを張って無農薬栽培をしている人が多くなっている。

2. 2024秋の白菜栽培方法の案

一昨年前までは苗作りは真々田さんが行っていた。真々田さんが退会したので昨年からは山田が苗作りを始め、苗まではなんとか作れたがその後の栽培に失敗したので真々田さんに相談した。

教室では苗植えと播種の両方をするによりリスクの低減を考えたかどうかとの提案があった。播種の場合は苗を植える時と同時期でも良いとのこと。雑草対策が重要でこまめに除草をしないと日陰になって育ちが悪くなる。また、周りに雑草が多いとバッタなどが食い荒らし、また蝶や蛾が卵を産み毛虫が発生する。このため、雑草対策と防虫対策が重要とのことでした。

栽培方法の案を以下に示す。

1) 畑の準備

現在育成中のソルゴ（ソルガム）を少なくとも植え付け3週間前までにハンマーナイフモアで刈取り裁断してトラクターで土中に漉き込んでおく（西嶋さん／小島さんにお問い合わせ）。植え付けの一週間前までにPH検出器で土の酸性／アルカリ性を測り、酸性土壌であれば石灰を投入して畝を作っておく。

2) 防虫対策

防虫対策としてはオルトランと殺虫剤の散布を行うことが基本であるが、AB農地では虫が多いので防虫ネットで蝶などが卵を産めないようにしないと昨年と同じ轍を踏むのではないかとの指摘があった。防虫方法を決めておく必要がある。

3) 雑草対策

白菜栽培に人手をかけられない場合は、マルチを張ってマルチに穴を開けて苗

を植え付ける、あるいは穴に播種することが考えられる。しかしながら9月上旬は太陽の直射熱が強く、黒マルチでは地温が高くなりすぎる。そこで贅沢であるが銀色マルチを使用することが考えられる。

銀色マルチは黒マルチに比べて高価である（幅95cm 長さ20mで2000円程度から幅125cm 長さ200mで6000円まで色々な種類がある。後日カインズなどで調査する）。

4) 防虫対策と雑草対策の両立

銀色マルチとネット張りを併用する。手順は以下の通り。

- ① 肥料を入れた畝に銀色マルチを張り、穴あけ器で直径5cm程度の穴を40cmピッチで開けておく。100株で40mになる。
苗が100株、直播が100とすると合計80mの列となる。1畝に2列とすれば合計40mの畝が必要となる。苗は200株程度を用意している。
- ② 菜の花教室でこの穴に白菜苗と種を植える（種の場合は、一つの穴に3粒程度）
- ③ 少量のオルトランを穴に入れてから防虫ネットを張る。播種の場合のネット張りは播種後数日経ってからもよい。無農薬にこだわる場合はオルトランをやめるが、ネットを完璧に張ることおよびネットが風などでずれた場合は即修理する必要がある。
- ④ 穴に水を撒く。
- ⑤ 苗を植え付けた所には翌日にもう一度水を撒く
- ⑥ 畝間に防草シートを張ると雑草対策としては万全となる
- ⑦ 時々生育状況を観察し具合が悪ければ対策をとる。
- ⑧ 10月下旬になれば害虫が減るのでネットを外しても良い。

5) 苗の作り方

今年も山田が苗作りをしているが、次年度以降苗作りに挑戦してみたいか？ 簡単な要領を以下に示す。

① 播種時期

苗用の播種時期は8月上旬から8月下旬ですが、関東地方ではお盆の頃が蒔きどきとされている。ただし近年の高温化で多少遅く播種した方が良いと言っている人がいる。

直播の場合も蒔きどきは同じだが遅くても9月上旬までがよい。これ以上発芽を遅くすると結球しない可能性が出る。

菜の花教室で苗の植え付けをする場合は、菜の花教室の約1ヶ月前に播種する。来年が高湿であるとすれば、菜の花教室を第2週から第3週にしておくことを考えなくてはならないかもしれない。

② 苗の作り方

菜の花教室に使う苗数は家庭菜園と異なり、多くの株数が必要で、かつ地

域人会員用も考えると 100 株以上必要となる。株数が少なければ 5cm ポットでも良いが、100 株以上となると 8x16 の育苗用トレーを使用する。培養土はタキイなどの種まき用を購入する。カインズでは 40L で 2000 円程度。

- ③ 菜の花教室に使う苗数は家庭菜園と異なり、多くの株数が必要で、かつ地域人会員用も考えると 100 株以上必要となる。数が少なければ 5cm ポットでも良いが、100 株以上となると 8x16 の育苗用トレーを使用する。
- ④ トレーの一つの穴に 2～3 粒の種を蒔き、苗が育ってきたら 1 本に選定する。
- ⑤ 発芽する前に防虫対策として、防虫ネットで蝶などを防ぐ。ネットがなければオルトランを土の表面に撒いておく。
- ⑥ 当然枯れないように適時水やりをする。

3. 今年の種

播種を 8 月 8 日に行った。種子は栽培日数が 60 日用と 80 日用の 2 種類

- ・ 60 日タイプは上手に作れば 2.5 kg となるアタリア農園の一代交配種で初心者用とされている
- ・ 80 日タイプは低温結球型のアタリア農園の一代交配種で寒くなっても株が肥大化する。

山田 政男
2024.8.15